

沿革

江戸
明治
大正
昭和
平成

1837(天保8)年
1867(慶応3)年
某月
初代幸七
1914(T3)年
田辺大蔵入社
1915(T4)年
2代目・幸七
(豊太郎を改名)
が就任
1918(T7)年
田辺喜一郎入社
二代目幸七(大蔵・高浪曹平)
喜一郎

初代・田辺幸七(幼名は銀蔵)が横浜村(現在の横浜市中区山下町)で出生。田辺家は横浜村の集家であったが、開港時に立ち退きを命じられ本村(現在の中区元町)に移住。当初は薪炭商(しんたんしょう・木炭を販売)を営んでいた。

初代・田辺幸七が田辺屋を元町3丁目122番地にて創業。砂糖の間屋・小売商を始める。その後、小麦粉や石油なども扱うようになる。



時代背景
1859(安政6)年
横浜開港
1868年9月
明治改元
殖産興業
富国強兵
1912年7月
大正改元
1920(T9)年3月~
戦後恐慌
(1次世界大戦後)
1923(T12)年9月1日
関東大震災
1926年12月
昭和改元
1941(S16)年12月~
1945(S20)年8月
太平洋戦争
1954(S29)年12月~
高度成長期
1973(S48)年12月~
安定成長期
1986(S61)年12月~
バブル景気
1989年1月
平成改元
1991(H3)年3月~
バブル崩壊、
低成長時代

1943(S18)~1947(S22) 営業休止

1948(S23)年 従来との関係筋、大日本製糖(株)(社長:藤山氏)の特約店として事業再開。同じ藤山氏関連の日東化学工業(株)が横浜工場ドライアイス事業を開始。当社も1952(昭和27年)より特約店としてドライアイスの販売を開始する

1953(S28)年 東京・静岡・浜松・沼津・島田・名古屋・豊橋に各出張所を設置

1955(S30)年 八戸・青森・花巻・盛岡・一の関・福井・金沢・富山・直江津・長岡・新潟に各出張所設置

1958(S33)年 札幌・函館・旭川・釧路・室蘭に出張所を設置

1959(S34)年 会社業績の拡充に伴い各地域に営業所を設置し出張所の管理にあたる宮古・釜石・大船渡・気仙沼の各出張所を開設する

1961(S36)年 仙台営業所の他、紋別・網走・稚内に出張所を開設

1963(S38)年 本社・7営業所・46出張所の体制で取扱い商品を増やし、経営の多角化を図る

1965(S40)年 三菱レイヨン(株)が日東化学工業(株)に経営参加(1997年に合併)

1967(S42)年 本社ビル竣工:横浜市中区本町(ほんちょう)6-51

1975(S50)年 田辺真一郎 社長就任

1980(S55)年 食品部・化成品部・物資部を食品部・化成品一部・化成品二部に再編

1983(S58)年 株式会社設立60周年を機に、本社・9支店・34営業所・4出張所の体制とする

1987(S62)年 田辺商事株式会社に社名変更

1998(H10)年 岩本猛 社長就任

1999(H11)年 新本社ビル完成 横浜市中区山下町(やましたちょう)71-2

2001(H13)年 エア・ウォーター炭酸(株)が三菱レイヨン(株)から炭酸事業の営業譲渡を受ける

2016(H28)年 田辺哲郎 社長就任

2017(H29)年 創業150年